

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	成人看護学概論
単位（時間）	1単位（15時間）	開講時期	1年次 前期～後期
講師名 （時間・所属）	古賀由美（15時間・好生館看護学院看護学科 専任教員 看護師）		
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>成人期を対象とした看護実践のため、成人期の特徴や取り巻く環境を理解し、成人期における看護の特徴を理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>成人期にある対象の身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面を理解し、看護のアプローチの基本を理解する。また対象を取り巻く環境を理解し、その対象の健康や生活を整えるシステムを学ぶ。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成人の各期の生活 成人各期 青年期・成人期・壮年期・中年期の身体・精神・社会的発達 対象の生活～働いて生活を営むこと</li> <li>2. 成人への看護のアプローチの基本</li> <li>3. 障害がある人の生活とリハビリテーション</li> <li>4. 学習者である患者の看護、健康を促すための看護技術</li> <li>5. 治療過程にある患者の看護</li> <li>6. 変化する医療・生活環境に対応した看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)退院支援の看護技術</li> <li>2)がんと共生を促す看護技術</li> <li>3)新たな治療法、先端医療と看護</li> </ol> </li> </ol>			
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義</p>			
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;テキスト&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学1 成人看護学総論 医学書院</p>			
<p>&lt;参考文献&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>講義終了後に試験で評価する。</p>			

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	成人保健																	
単位（時間）	1単位（30時間）	開講時期	1年次 前期～後期																	
講師名 （時間・所属）	森内あおい（4時間・佐賀中部保健福祉事務所 歯科衛生士） 音成 道彦（6時間・ライフスタイル医科学研究所 副所長） 平川千津子（12時間・好生館看護学院看護学科 専任教員 看護師） 佐藤 英俊（2時間・元佐賀大学医学部緩和ケアセンター長 医師） 森 直美（6時間・佐賀県医療センター好生館緩和ケア看護認定看護師）																			
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>成人期における健康の保持増進や疾病予防のため、成人保健における制度や取り組み、看護の役割について理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>成人期にある対象の健康に影響を与える要因を理解し、健康の保持増進や生活習慣病など疾病予防の重要性、人生最後の段階における対象と家族への援助を理解する。また、対象が主体的に健康を促進できる援助について理解する。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 成人保健の意義</td> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">学院平川</td> </tr> <tr> <td>2. 生活と健康</td> </tr> <tr> <td>3. ヘルスプロモーションと看護</td> </tr> <tr> <td>4. 健康をおびやかす要因と看護</td> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">音成</td> </tr> <tr> <td>5. 生活習慣病 生活ストレスと身体活動・運動</td> </tr> <tr> <td>6. 健康生活の破綻から回復を促す看護</td> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">学院平川</td> </tr> <tr> <td>7. 健康生活の慢性的な揺らぎの再調整を促す看護</td> </tr> <tr> <td>8. 人生の最期のときを支える看護 生活の質の保証 悲嘆へのケア</td> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">佐藤・森</td> </tr> <tr> <td>9. 症状マネジメントの看護技術 苦痛のアセスメント 疼痛コントロール</td> </tr> </table>				1. 成人保健の意義	}	学院平川	2. 生活と健康	3. ヘルスプロモーションと看護	4. 健康をおびやかす要因と看護	}	音成	5. 生活習慣病 生活ストレスと身体活動・運動	6. 健康生活の破綻から回復を促す看護	}	学院平川	7. 健康生活の慢性的な揺らぎの再調整を促す看護	8. 人生の最期のときを支える看護 生活の質の保証 悲嘆へのケア	}	佐藤・森	9. 症状マネジメントの看護技術 苦痛のアセスメント 疼痛コントロール
1. 成人保健の意義	}	学院平川																		
2. 生活と健康																				
3. ヘルスプロモーションと看護																				
4. 健康をおびやかす要因と看護	}	音成																		
5. 生活習慣病 生活ストレスと身体活動・運動																				
6. 健康生活の破綻から回復を促す看護	}	学院平川																		
7. 健康生活の慢性的な揺らぎの再調整を促す看護																				
8. 人生の最期のときを支える看護 生活の質の保証 悲嘆へのケア	}	佐藤・森																		
9. 症状マネジメントの看護技術 苦痛のアセスメント 疼痛コントロール																				
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義 演習</p>																				
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>なし</p>																				

<テキスト>

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学Ⅰ 成人看護学総論 医学書院  
系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院（佐藤・森）  
国民衛生の動向 厚生統計協会

<参考文献>

なし

<評価方法>

各講義終了後に試験で評価し、加重平均する。  
森内、佐藤、森：評価なし

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	呼吸器・循環器・腎・血液疾患を持つ患者の看護
単位（時間）	2単位（60時間）	開講時期	2年次 前期～後期
講師名 （時間・所属）	神田 治美（4時間・佐賀県医療センター好生館 呼吸器病棟 看護師） 橋口 佳奈子（9時間・佐賀県医療センター好生館 血液内科病棟 看護師） 飯盛 直子（2時間・佐賀県医療センター好生館 透析室 看護師） 田中希代子（呼吸器系 15 時間・好生館看護学院看護学科 専任教員 看護師） 光野まゆみ（循環器系 17 時間・好生館看護学院看護学科 専任教員 看護師） 西村 弘子（腎臓系 11 時間・好生館看護学院看護学科 専任教員 看護師） 血液センター見学（2時間・現地講義）		
<p>&lt; 科目設定理由 &gt;</p> <p>成人期を対象とした看護実践のため、成人期における呼吸器、循環、血液疾患とその看護について理解する必要がある。</p> <p>&lt; 科目目標 &gt;</p> <p>生命維持に障害を及ぼす呼吸器、血液・造血器、循環器、腎臓・透析について検査・治療を受ける対象を理解する。また、障害を持つ対象の急性期・慢性期・回復期・終末期・継続看護までの科学的根拠に基づいた援助について理解する。</p> <p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <p>1. 呼吸器の健康問題を持つ患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・疾患の経過・症状及び看護           <ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸困難・結核・肺炎・呼吸不全</li> <li>気胸・肺がん・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・江口</li> </ul> </li> <li>・治療・検査時の看護～TBLB・内視鏡検査・呼吸理学療法・・           <ul style="list-style-type: none"> <li>手術を受ける患者の看護</li> <li>胸腔ドレナージ術を受ける患者の看護</li> </ul> </li> </ul> <p>2. 血液・造血器の健康問題を持つ患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・疾患の経過・症状及び看護（貧血・出血 造血器腫瘍）</li> <li>・治療・検査時の看護（移植・寛解・化学療法）</li> <li>・血液センター見学（現地講義）</li> </ul>			

<p>3. 循環器系の健康問題を持つ患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・疾患の経過・症状及び看護 (胸痛・狭心症・心筋梗塞・心不全の患者)</li> <li>・治療・検査時の看護 (心臓カテーテル・薬物療法・心臓手術)</li> </ul> <p>4. 腎臓系の健康問題を持つ患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・疾患の経過・症状及び看護 ～腎不全、慢性腎臓病、ネフローゼ症候群</li> <li>・治療・検査時の看護～腎移植・腎機能検査・ 透析</li> </ul>	<p>} 学院光野</p> <p>} 飯盛・学院西村</p> <p>学院西村</p> <p>飯盛</p>
<p>&lt; 講義の進め方 &gt;</p> <p>講義</p> <p>演習～事例展開</p>	
<p>&lt; 受講要件 &gt;</p> <p>成人看護学概論、成人保健の講義を 2 / 3 以上受講しておくこと。</p>	
<p>&lt; テキスト &gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 2 呼吸器 医学書院 (江口・学院田中)</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 2 臨床外科看護各論 (江口)</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 3 循環器 医学書院 (学院光野)</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 4 血液・造血器 医学書院 (橋口)</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 8 腎・泌尿器 医学書院 (飯盛・学院西村)</p> <p>はじめての透析看護 メディカ出版 (飯盛・学院西村)</p>	
<p>&lt; 参考文献 &gt;</p> <p>なし</p>	
<p>&lt; 評価方法 &gt;</p> <p>各講師の講義終了後に試験を実施し、加重平均する。</p> <p>飯盛：評価なし</p>	

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	消化器系疾患を持つ患者の看護
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	2 年次 前期～後期
講師名 （時間・所属）	俵 麻美 } 森田めぐみ } (15 時間・佐賀県医療センター好生館消化器病棟 看護師) 田中希代子 (15 時間・好生館看護学院 専任教員 看護師)		
<p>&lt; 科目設定理由 &gt;</p> <p>成人期を対象とした看護実践のため、成人期における消化器系疾患とその看護について理解する必要がある。</p> <p>&lt; 科目目標 &gt;</p> <p>生命を維持する消化器系に健康問題を持つ対象を理解し、その看護を学ぶ。また、検査や内科、外科的治療を受ける対象の精神的・身体的側面を理解し必要な知識と技術を習得する。</p> <p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <p>1. 消化器系の健康問題を持つ患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・症状に対する看護 嘔下障害、吐き気・嘔吐、腹痛、吐血・下血、便秘、腹部膨満など</li> <li>・疾患を持つ患者の看護 胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病 肝炎、肝硬変、肝がん、胆のう炎、膵炎 内科的治療に伴う看護過程</li> <li>・検査を受ける患者の看護 放射線検査、内視鏡検査、超音波検査、肝生検など</li> <li>・治療・処置を受ける患者の看護 薬物療法、食事療法、放射線療法</li> <li>・手術療法を受ける患者の看護 食道がん、胃がん、急性腹膜炎、虫垂炎、ヘルニア、イレウス 大腸がん、ストーマ造設、肝がん、胆道、膵臓 外科的治療を受ける患者の看護過程</li> </ul> <p style="text-align: right;">} 学院田中 } 俵・森田</p>			
<p>&lt; 講義の進め方 &gt;</p> <p>講義 演習～事例展開</p>			
<p>&lt; 受講要件 &gt;</p> <p>成人看護学概論、成人保健の講義を 2 / 3 以上受講しておくこと。</p>			

<テキスト>

系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学5 消化器 医学書院

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学2 臨床外科看護各論（俵・森田）

<参考文献>

ナーシンググラフィカ EX 周手術期看護

<評価方法>

各講師の講義終了後に試験を実施し、加重平均する。

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	内分泌・代謝疾患・感染症を持つ患者の看護
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	3 年次 前期
講師名 （時間・所属）	西村弘子（30 時間・好生館看護学院看護学科 専任教員 看護師）		
<p>&lt; 科目設定理由 &gt;</p> <p>成人期を対象とした看護実践のため、成人期における内分泌代謝・感染症とその看護について理解する必要がある。</p> <p>&lt; 科目目標 &gt;</p> <p>人間を取り巻く環境より人間の生体防御に影響を受け、感染症・膠原病・内分泌・代謝疾患の障害を持つ対象の日常生活を整えるための看護を学ぶ。また、治療を受ける対象の心理を理解し、その看護に必要な知識と技術を習得する。</p> <p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染症を持つ患者の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴 感染症の成り立ち</li> <li>・疾患の経過・症状及び看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>感染経路予防策と隔離方法 アウトブレイクへの対応</li> <li>HIV・日和見感染・多剤耐性、真菌症の患者</li> </ul> </li> <li>・治療・検査時の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>検体の取り扱いなど</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2. 膠原病を持つ患者の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・疾患の経過・症状及び看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>関節・皮膚粘膜・筋肉・レイノー症状 リウマチ</li> <li>全身性エリテマトーデス・硬化症・筋炎の患者</li> </ul> </li> <li>・治療・検査時の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>薬物療法など</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>3. 内分泌代謝の健康問題を持つ患者の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の代謝・病態生理に基づく特徴</li> <li>・疾患の経過・症状及び看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>甲状腺疾患・副腎疾患・視床下部下垂体疾患・糖尿病</li> <li>メタボリック症候群・尿酸代謝の患者</li> </ul> </li> <li>・治療・検査時の看護</li> </ul> </li> </ol>			
<p>&lt; 講義の進め方 &gt;</p> <p>講義 演習～事例展開</p>			



<受講要件>

成人看護学概論、成人保健の単位を取得しておくこと

<テキスト>

系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 11 アレルギー 膠原病 感染症 医学書院  
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 6 内分泌・代謝 医学書院

<参考文献>

なし

<評価方法>

講義終了後に試験で評価する。

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	老年看護学概論
単位（時間）	1単位（30時間）	開講時期	1年次 前期～後期
講師名 （時間・所属）	古賀由美（30時間・好生館看護学院看護学科 専任教員 看護師）		
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>老年期を対象とした看護実践のため、老年期の特徴や取り巻く環境を理解し、老年期における看護の特徴を理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>老年期にある対象の精神的・身体的・社会的・スピリチュアルな側面を理解し、老年看護の基礎的知識を理解する。また、対象を取り巻く環境と加齢に伴い発生する健康問題について理解し、その看護を学ぶ。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老いるということ <ul style="list-style-type: none"> <li>・老いを生きるということ</li> </ul> </li> <li>2. 老年看護の基盤</li> <li>3. 高齢者のアセスメント</li> <li>4. 加齢に伴う高齢者の生活機能を整える看護の展開</li> <li>5. 高齢者のリスクマネジメント</li> </ol>			
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義 演習～高齢者体験・事例展開</p>			
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;テキスト&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院</p>			
<p>&lt;参考文献&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>講義終了後に試験で評価する。</p>			

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	老年保健
単位（時間）	1単位（15時間）	開講時期	1年次 前期～後期
講師名 （時間・所属）	坂井由美子（15時間・好生館看護学院看護学科 専任教員 看護師）		
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>老年期の生活や健康の維持のため、高齢者を取り巻く環境、社会情勢の変化や制度・支援、看護の役割について理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>老年期の特徴と生活機能に障害を及ぼす要因を理解する。保健医療福祉の連携を基盤とした地域社会での看護について理解する。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢社会と社会保障 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢社会の統計的輪郭</li> <li>・保健医療福祉の動向（介護保険制度の整備）</li> <li>・高齢社会における権利擁護</li> </ul> </li> <li>2. 健康逸脱からの回復と終末期を支える看護の展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査・治療を受ける高齢者の看護</li> <li>・疾患を持つ高齢者の看護</li> <li>・認知機能の障害に対する看護</li> <li>・人生最後の段階における看護</li> </ul> </li> <li>3. 生活、療養の場における看護の展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅高齢者の看護</li> <li>・保健医療福祉施設における看護</li> <li>・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護</li> </ul> </li> </ol>			
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義</p>			
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;テキスト&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 国民衛生の動向 厚生統計協会</p>			
<p>&lt;参考文献&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>講義終了後、試験で評価する。</p>			

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	健康問題を持つ高齢者の看護
単位（時間）	2単位（60時間）	開講時期	2年次 前期～後期
講師名 （時間・所属）	田中 彩（5時間・佐賀県医療センター好生館 眼科病棟 看護師） 浦川 亮介（7時間・中多久病院 精神科 看護師） 今村裕浩（8時間・佐賀県医療センター好生館 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師） 田代加代子 }（13時間・佐賀県医療センター好生館 整形外科病棟 看護 大丸ちなみ } 古賀 由美（9時間・好生館看護学院看護学科 専任教員 看護師） 田中希代子（18時間・好生館看護学院看護学科 専任教員 看護師）		
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>老年期を対象とした看護実践のため、健康問題を持つ高齢者の看護について理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>老年期の対象とその家族の特徴を基盤に、加齢に伴い生じる身体的変化と生活に障害を及ぼす疾患に対する看護の基礎的知識と技術を理解する。認知症について対象の理解とその看護に必要な知識と技術を理解する。また、健康問題がもたらす生活への影響とその看護を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 眼に健康問題を持つ高齢者の看護               <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・症状・疾患の経過と看護                    白内障・調節異常</li> <li>・診察・検査時の看護                    薬物・手術療法・眼圧検査 他</li> </ul> </li> <li>2. 耳鼻咽喉に健康問題を持つ高齢者の看護               <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・症状・疾患の経過と看護                    難聴・外耳・内耳・迷路性疾患・鼻疾患                    咽喉頭疾患・めまい・耳鳴</li> <li>・診察・検査時の看護                    平衡検査・薬物・手術療法</li> </ul> </li> <li>3. 皮膚に健康問題を持つ高齢者の看護               <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の特徴 老化による皮膚の変化</li> <li>・症状・疾患の経過と看護                    掻痒感・角化症・水泡症・皮膚腫瘍・熱傷</li> <li>・看護過程</li> <li>・診察・検査時の看護                    レーザー療法・手術・薬物療法</li> </ul> </li> </ol>			

<p>4. 泌尿器に健康問題を持つ高齢者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・症状・疾患の経過と看護     排尿障害・前立腺肥大症・腫瘍</li> </ul> <p>5. 運動器系に健康問題を持つ高齢者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・症状・疾患の経過と看護     骨粗鬆症・変形性疾患・骨折・神経障害</li> <li>・診察・検査時の看護     手術療法・リハビリ</li> </ul> <p>6. 脳・神経系（内・外科）に健康問題を持つ高齢者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・症状・疾患の経過と看護     意識障害・運動障害・神経障害     脳内出血・腫瘍・頭蓋内圧亢進・けいれん</li> <li>・診察・検査時の看護     薬物・手術療法</li> </ul> <p>7. 認知症を持つ高齢者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢社会と認知症、予防的アプローチ</li> <li>・認知症の臨床</li> <li>・生活機能の障害からみる認知症</li> </ul>	<p>学院田中</p> <p>田代・大丸</p> <p>今村・学院古賀</p> <p>浦川</p>																																			
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義</p> <p>演習～事例展開</p>																																				
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>老年看護学概論、老年保健の講義を2/3以上受講しておくこと。</p>																																				
<p>&lt;テキスト&gt;</p> <table border="0"> <tr> <td>系統看護学講座</td> <td>専門分野Ⅱ</td> <td>成人看護学 13</td> <td>眼</td> <td>医学書院（神田）</td> </tr> <tr> <td>系統看護学講座</td> <td>専門分野Ⅱ</td> <td>成人看護学 14</td> <td>耳鼻咽喉</td> <td>医学書院（学院田中）</td> </tr> <tr> <td>系統看護学講座</td> <td>専門分野Ⅱ</td> <td>成人看護学 12</td> <td>皮膚</td> <td>医学書院（学院田中）</td> </tr> <tr> <td>系統看護学講座</td> <td>専門分野Ⅱ</td> <td>成人看護学 8</td> <td>腎・泌尿器</td> <td>医学書院（学院田中）</td> </tr> <tr> <td>系統看護学講座</td> <td>専門分野Ⅱ</td> <td>成人看護学 7</td> <td>脳・神経</td> <td>医学書院（今村・学院古賀）</td> </tr> <tr> <td>系統看護学講座</td> <td>専門分野Ⅱ</td> <td>成人看護学 10</td> <td>運動器</td> <td>医学書院（田代・倉持）</td> </tr> <tr> <td>系統看護学講座</td> <td>専門分野Ⅱ</td> <td>老年看護学</td> <td></td> <td>医学書院（浦川）</td> </tr> </table>		系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 13	眼	医学書院（神田）	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 14	耳鼻咽喉	医学書院（学院田中）	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 12	皮膚	医学書院（学院田中）	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 8	腎・泌尿器	医学書院（学院田中）	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 7	脳・神経	医学書院（今村・学院古賀）	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 10	運動器	医学書院（田代・倉持）	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	老年看護学		医学書院（浦川）
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 13	眼	医学書院（神田）																																
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 14	耳鼻咽喉	医学書院（学院田中）																																
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 12	皮膚	医学書院（学院田中）																																
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 8	腎・泌尿器	医学書院（学院田中）																																
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 7	脳・神経	医学書院（今村・学院古賀）																																
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学 10	運動器	医学書院（田代・倉持）																																
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	老年看護学		医学書院（浦川）																																
<p>&lt;参考文献&gt;</p> <p>なし</p>																																				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>各講師の講義が終了後に試験を実施し、加重平均する。</p>																																				

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	小児看護学概論
単位（時間）	1単位（15時間）	開講時期	1年次 後期
講師名 （時間・所属）	鈴木智恵子（15時間・佐賀大学医学部看護学科 小児看護学教授 看護師）		
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>小児期を対象とした看護実践のため、小児期の特徴や取り巻く環境を理解し、小児期における看護の特徴を理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>生命の発生から成人期へ移行するまでの小児期のあらゆる発達段階、また、様々な健康状態にある小児とその家族に対する小児看護の基礎的知識を理解する。成長発達に影響を与える要因を捉え、健やかな成長発達を促す看護について理解する。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児看護の対象、目標と役割、変遷、倫理、課題</li> <li>2. 小児のアセスメント</li> <li>3. 疾病を持つ小児と家族に対する看護</li> <li>4. 疾病の経過と症状に対する看護</li> <li>5. 状況（環境）に特徴づけられる看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来受診・入院治療</li> <li>・在宅・災害時</li> </ul> </li> <li>6. 障害のある小児と家族の看護</li> </ol>			
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義</p>			
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;テキスト&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院</p>			
<p>&lt;参考文献&gt;</p> <p>小児の発達と看護 メディカ出版</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>講義終了後、試験で評価する。</p>			

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	小児保健
単位（時間）	1単位（30時間）	開講時期	1年次 後期
講師名 （時間・所属）	久野 建夫（11時間・佐賀駅南クリニック院長 医師） 岡部千穂（19時間・好生館看護学院助産学科 実習指導教員 助産師）		
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>小児期の健やかな成長発達や健康のため、小児を取り巻く環境、社会情勢の変化や制度や支援、看護の役割について理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>小児期の成長発達、家族、療育環境、小児を取り巻く社会情勢、社会資源等について理解し、小児と家族を支える看護の役割について理解する。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>1. 小児と家族の諸統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・学院諸泉</p> <p>2. 成長発達の評価及び影響する因子            ・生命発生から新生児・乳児・幼児               学童・思春期の成長発達・評価</p> <p>3. 小児の栄養</p> <p>4. 小児各期の養育及び看護</p> <p>5. 小児各期に起こりやすい健康問題の特徴と看護</p> <p>6. 家族の特徴とアセスメント</p> <p>7. 小児と家族を取り巻く社会</p>			
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義 演習</p>			
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;テキスト&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 国民衛生の動向 厚生統計協会</p>			
<p>&lt;参考文献&gt;</p> <p>小児の発達と看護 メディカ出版</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>各講師の講義終了後に試験を実施し、加重平均する。</p>			

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	健康問題を持つ小児と家族の看護		
単位（時間）	2単位（45時間）	開講時期	2年次 前期～後期		
講師名 （時間・所属）	山浦久美子（10時間・佐賀県医療センター好生館 小児科病棟 看護師） 柳田かおり（10時間・佐賀県医療センター好生館 小児科病棟 看護師） 尊田 知美（2時間・国立病院機構佐賀病院 NICU 看護師） 岡部千穂（23時間・好生館看護学院助産学科 実習指導教員 助産師）				
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>小児期を対象とした看護実践のため、健康問題を持つ小児と家族の看護について理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>小児の健康問題と要因を理解し、小児、家族の心理を理解し、小児が健やかな成長発達ができるよう、また生きる力を強めるように援助できる能力を養う。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">           1. 検査・処置を受ける小児の看護            2. 染色体異常・胎内環境により発症する先天異常を持つ小児と家族の看護            3. 免疫・アレルギー・リウマチの健康問題を持つ小児と家族の看護            4. 内分泌代謝系の健康問題を持つ小児と家族の看護            5. 感染症を持つ小児と家族の看護            6. 呼吸器系の健康問題を持つ小児と家族の看護            7. 循環器系の健康問題を持つ小児と家族の看護            8. 消化器系の健康問題を持つ小児と家族の看護            9. 血液・造血器の健康問題を持つ小児と家族の看護            10. 悪性新生物を持つ小児と家族の看護            11. 腎・泌尿器及び生殖器系の健康問題を持つ小児と家族の看護            12. 運動器系の健康問題を持つ小児と家族の看護            13. 神経系の健康問題を持つ小児と家族の看護            14. 感覚器系の健康問題を持つ小児と家族の看護            15. 精神に健康問題を持つ小児と家族の看護            16. 事故・外傷による健康問題を持つ小児と家族の看護            17. 子どもの虐待と看護            18. ハイリスク児の看護・継続看護・・・・・・・・・・・・・・・・・・         </td> <td style="vertical-align: middle; padding-left: 20px;">           } 伊東・北村            }            } 学院岡部            }            } 山浦・柳田            }            } 学院岡部            } 尊田         </td> </tr> </table>				1. 検査・処置を受ける小児の看護 2. 染色体異常・胎内環境により発症する先天異常を持つ小児と家族の看護 3. 免疫・アレルギー・リウマチの健康問題を持つ小児と家族の看護 4. 内分泌代謝系の健康問題を持つ小児と家族の看護 5. 感染症を持つ小児と家族の看護 6. 呼吸器系の健康問題を持つ小児と家族の看護 7. 循環器系の健康問題を持つ小児と家族の看護 8. 消化器系の健康問題を持つ小児と家族の看護 9. 血液・造血器の健康問題を持つ小児と家族の看護 10. 悪性新生物を持つ小児と家族の看護 11. 腎・泌尿器及び生殖器系の健康問題を持つ小児と家族の看護 12. 運動器系の健康問題を持つ小児と家族の看護 13. 神経系の健康問題を持つ小児と家族の看護 14. 感覚器系の健康問題を持つ小児と家族の看護 15. 精神に健康問題を持つ小児と家族の看護 16. 事故・外傷による健康問題を持つ小児と家族の看護 17. 子どもの虐待と看護 18. ハイリスク児の看護・継続看護・・・・・・・・・・・・・・・・・・	} 伊東・北村 } } 学院岡部 } } 山浦・柳田 } } 学院岡部 } 尊田
1. 検査・処置を受ける小児の看護 2. 染色体異常・胎内環境により発症する先天異常を持つ小児と家族の看護 3. 免疫・アレルギー・リウマチの健康問題を持つ小児と家族の看護 4. 内分泌代謝系の健康問題を持つ小児と家族の看護 5. 感染症を持つ小児と家族の看護 6. 呼吸器系の健康問題を持つ小児と家族の看護 7. 循環器系の健康問題を持つ小児と家族の看護 8. 消化器系の健康問題を持つ小児と家族の看護 9. 血液・造血器の健康問題を持つ小児と家族の看護 10. 悪性新生物を持つ小児と家族の看護 11. 腎・泌尿器及び生殖器系の健康問題を持つ小児と家族の看護 12. 運動器系の健康問題を持つ小児と家族の看護 13. 神経系の健康問題を持つ小児と家族の看護 14. 感覚器系の健康問題を持つ小児と家族の看護 15. 精神に健康問題を持つ小児と家族の看護 16. 事故・外傷による健康問題を持つ小児と家族の看護 17. 子どもの虐待と看護 18. ハイリスク児の看護・継続看護・・・・・・・・・・・・・・・・・・	} 伊東・北村 } } 学院岡部 } } 山浦・柳田 } } 学院岡部 } 尊田				
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義 演習～事例展開</p>					



<受講要件>

小児看護学概論、小児保健の講義を2/3以上受講しておくこと。  
小児の病態論の講義を1/3以上受講しておくこと。

<テキスト>

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論  
医学書院系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学2 小児臨床看護各論 医学書院

<参考文献>

国民衛生の動向 厚生統計協会

<評価方法>

各講師の講義終了後に試験を実施し、加重平均する。

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	母性看護学概論
単位（時間）	1単位（15時間）	開講時期	1年次 後期
講師名 （時間・所属）	平尾 幸恵（15時間・好生館看護学院 助産学科 専任教員 助産師）		
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>母性を対象とした看護実践のため、母性の特徴や取り巻く環境を理解し、母性における看護の特徴を理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>女性のライフサイクルを身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から理解し、母性の特徴、リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康・権利）について理解し、その看護を学ぶ。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母性看護の基盤となる概念</li> <li>2. 母性看護の対象理解</li> <li>3. 母性看護に必要な看護技術 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアカウンセリング</li> </ul> </li> <li>4. リプロダクティブヘルスケア <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族計画</li> <li>・性感染症とその予防</li> <li>・人工妊娠中絶と看護</li> </ul> </li> </ol>			
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義</p>			
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;テキスト&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学1 母性看護学概論 医学書院</p>			
<p>&lt;参考文献&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>講義終了後に試験で評価する。</p>			

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	母性保健
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	2 年次 前期
講師名 （時間・所属）	森 浩子（30 時間・佐賀県医療センター好生館看護学院 助産師）		
<p>&lt; 科目設定理由 &gt;</p> <p>女性のライフサイクル各期における健康を守るため、母性を取り巻く環境、社会情勢の変化や制度や支援、看護の役割について理解する必要がある。</p> <p>&lt; 科目目標 &gt;</p> <p>女性のライフサイクル各期の対象の特徴及び取り巻く環境を理解する。また、女性のライフサイクル各期における健康の調和と維持、健康問題とその看護について学ぶ。</p> <p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状</li> <li>2. リプロダクティブヘルスケア <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙女性の健康と看護</li> <li>・性暴力を受けた女性に対する看護</li> <li>・H I V に感染した女性に対する看護</li> <li>・国際化社会と看護</li> </ul> </li> <li>3. 女性のライフステージ各期における看護</li> </ol>			
<p>&lt; 講義の進め方 &gt;</p> <p>講義 演習</p>			
<p>&lt; 受講要件 &gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt; テキスト &gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 1 母性看護学概論 医学書院 国民衛生の動向 厚生統計協会</p>			
<p>&lt; 参考文献 &gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt; 評価方法 &gt;</p> <p>講義終了後に試験で評価する。</p>			

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	正常経過をたどる周産期看護
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	2 年次 前期～後期
講師名 （時間・所属）	井上ゆずか（15 時間・庄野真由美レディースクリニック 助産師） 浪岡加奈（15 時間・佐賀県医療センター好生館 産婦人科病棟 助産師）		
<p>&lt; 科目設定理由 &gt;</p> <p>女性の妊娠、分娩、産褥期を対象とした看護実践のため、正常経過をたどる周産期の看護の特徴を理解する必要がある。</p> <p>&lt; 科目目標 &gt;</p> <p>正常経過をたどる対象と新生児の看護を理解する。また、周産期における対象とその家族の看護を理解する。</p> <p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <p>1. 妊娠期・分娩各期の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体的特徴</li> <li>・心理・社会的特性</li> <li>・妊婦と胎児の状態の理解と看護</li> <li>・妊婦とその家族の援助</li> <li>・分娩各期における産婦・児の状態の理解と看護</li> </ul> <p>2. 産褥期の看護と新生児と家族の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体的特徴</li> <li>・心理・社会的特性</li> <li>・褥婦と新生児の状態の理解と看護</li> <li>・褥婦とその家族の援助</li> <li>・産褥の経過の理解とアセスメント・援助方法</li> <li>・新生児の生理とアセスメント・援助方法</li> </ul> <p>沐浴目的・方法 他</p>			
<p>&lt; 講義の進め方 &gt;</p> <p>講義 演習～沐浴技術・事例展開</p>			
<p>&lt; 受講要件 &gt;</p> <p>母性看護学概論、母性保健の講義を 2 / 3 以上受講しておくこと。</p>			
<p>&lt; テキスト &gt;</p> <p>系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学 2 母性看護学各論 医学書院</p>			
<p>&lt; 参考文献 &gt;</p> <p>ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 医歯薬出版 病気がみえる 産科 メディックメディア</p>			
<p>&lt; 評価方法 &gt;</p> <p>各講師の講義終了後に試験を実施し、加重平均する。</p>			

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	異常経過をたどる周産期看護
単位（時間）	1単位（15時間）	開講時期	3年次 前期～後期
講師名 （時間・所属）	俵 由里子（15時間・佐賀県医療センター好生館 母性看護専門看護師）		
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>女性の妊娠、分娩、産褥期を対象とした看護実践のため、異常経過をたどる周産期の看護の特徴を理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>異常経過をたどる対象と新生児の看護を理解する。また、周産期における対象とその家族の看護を理解する。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊娠各期の異常と看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイリスク妊娠の理解と対象の心理</li> </ul> </li> <li>2. 分娩各期の異常と看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩時の異常と産婦の看護</li> <li>・分娩時の損傷</li> <li>・帝王切開での分娩</li> </ul> </li> <li>3. 産褥期の異常と看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮復古不全・産褥熱・感染症を持つ褥婦及び新生児の看護</li> </ul> </li> <li>4. 精神に健康問題を持つ妊婦と家族の看護</li> <li>5. 新生児期の異常と家族の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児仮死、低出生体重児、高ビリルビン血症を持つ新生児</li> <li>・分娩外傷、授乳トラブル、母児分離の看護</li> </ul> </li> <li>6. 異常経過をたどる周産期の看護過程</li> </ol>			
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義</p>			
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母性看護学概論、母性保健の単位を取得していること。</li> <li>・母性の病態論を2/3以上受講していること。</li> <li>・正常経過をたどる周産期看護の講義を2/3以上受講していること</li> </ul>			
<p>&lt;テキスト&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学2 母性看護学各論 医学書院</p>			
<p>&lt;参考文献&gt;</p> <p>ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 医歯薬出版 周産期ケア・マニュアル 写真とCDでわかる サイオ出版</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>講義終了後に試験で評価する。</p>			

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	女性の健康問題と看護
単位（時間）	1単位（15時間）	開講時期	2年次 前期～後期
講師名 （時間・所属）	井上ゆずか（13時間・庄野真由美レディースクリニック 助産師） 小野由喜子（2時間・佐賀県医療センター好生館 乳がん看護認定看護師）		
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>女性を対象とした看護実践のため、女性特有の女性生殖器や乳房の健康問題に対する看護の特徴を理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>女性のライフサイクル各期における女性生殖器や乳房の健康問題について理解する。また、健康問題を持つ対象の心理を理解し、対象の生きる力につなげる看護について理解する。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外陰に健康問題を持つ対象の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・症状・疾患の経過と看護</li> <li>・診察・検査時の看護</li> <li>・看護過程</li> </ul> </li> <li>2. 膣に健康問題を持つ対象の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・症状・疾患の経過と看護</li> <li>・診察・検査時の看護</li> <li>・看護過程</li> </ul> </li> <li>3. 子宮・卵巣に健康問題を持つ対象の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・症状・疾患の経過と看護</li> <li>・診察・検査時の看護</li> <li>・看護過程</li> </ul> </li> <li>4. 不妊問題を持つ対象の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・不妊症の理解とその原因</li> <li>・検査・治療時の看護</li> <li>・不妊治療を取り巻く問題点</li> <li>・不妊症治療のコーディネート</li> </ul> </li> <li>5. 乳房に健康問題を持つ対象の看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の病態生理に基づく特徴</li> <li>・症状・疾患の経過と看護</li> <li>・治療・処置（手術療法を含む）の看護</li> </ul> </li> </ol>			

井上

小野

< 講義の進め方 >

講義

演習～沐浴技術・事例展開

< 受講要件 >

母性看護学概論の講義を2/3以上受講しておくこと。

< テキスト >

系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器 医学書院

< 参考文献 >

病気がみえる 産科 メディックメディア

< 評価方法 >

講義終了後に試験を実施し、加重平均する。

小野：評価なし

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	精神看護学概論
単位（時間）	1単位（15時間）	開講時期	2年次 前期
講師名 （時間・所属）	牧 正興（15時間・久留米大学 人間健康学部 教授 臨床心理士）		
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>精神を病む人を対象とした看護実践のため、精神障害について学び、その看護について理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>人間の心のあり方と発達、ライフサイクルにおける危機的状況への対処機制を学ぶことで「精神の健康とは何か」を理解する。さらにストレス社会といわれる現代社会の精神看護の位置づけと課題を理解する。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「心のケア」と現代社会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神看護学とその課題</li> <li>・精神障害とはどういうものか</li> </ul> </li> <li>2. 精神の健康と障害 <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神の健康とは</li> <li>・精神障害の捉え方</li> <li>・精神障害の体験</li> </ul> </li> <li>3. 人間の心のはたらき <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の心の緒活動</li> <li>・心のしくみと人格の発達</li> <li>・心の危機とストレス</li> </ul> </li> </ol>			
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義</p>			
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>看護学概論、心理学の単位を取得しておくこと。</p>			
<p>&lt;テキスト&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学1 精神看護の基礎 医学書院</p>			
<p>&lt;参考文献&gt;</p> <p>国民衛生の動向 厚生統計協会</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>講義終了後に試験で評価する。</p>			



分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	精神保健
単位（時間）	1 単位（15 時間）	開講時期	2 年次 前期～後期
講師名 （時間・所属）	牧 正興（15 時間・久留米大学 人間健康学部 教授 臨床心理士）		
<p>&lt; 科目設定理由 &gt;</p> <p>心の健康を保ちながら、地域で自分らしく生活するため、精神保健の概念、取り巻く環境や制度、看護の役割について理解する必要がある。</p> <p>&lt; 科目目標 &gt;</p> <p>精神障害者を取り巻く法律、社会保障制度を学び、地域ケアの場におけるサービスの提供形態と支援体制について理解する。精神医療や人々の意識の変遷を学び、外的環境が精神障害者に与える影響を理解する。対象が地域で自分らしく生活するために必要な知識を習得する。</p> <p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神保健の概念</li> <li>2. 精神保健のための生理</li> <li>3. ライフサイクルと精神保健 <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児・幼児期、児童期・青年期、成人期・老年期</li> </ul> </li> <li>4. 発達障害の諸相と援助</li> <li>5. 不適応と危機</li> <li>6. 心のケアと治療</li> <li>7. 精神保健と行政</li> <li>8. 関係の中の個人・人間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体としての家族</li> <li>・人間と集団</li> </ul> </li> </ol>			
<p>&lt; 講義の進め方 &gt;</p> <p>講義</p>			
<p>&lt; 受講要件 &gt;</p> <p>看護学概論、心理学の単位を取得しておくこと。</p>			
<p>&lt; テキスト &gt;</p> <p>精神保健 建帛社</p> <p>国民衛生の動向 厚生統計協会</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学Ⅰ 精神看護の基礎 医学書院</p>			
<p>&lt; 参考文献 &gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt; 評価方法 &gt;</p> <p>講義終了後に試験で評価する。</p>			

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	精神臨床看護の基礎												
単位（時間）	1単位（30時間）	開講時期	2年次 前期～後期												
講師名 （時間・所属）	高橋 幸市（15時間・心理支援オフィス緑蔭舎 代表 臨床心理士） 梅崎 節子（8時間・純真学園大学 保健医療学部 准教授 看護師） 坂井由美子（7時間・好生館看護学院 専任教員 看護師）														
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>精神障害を持つ対象の看護実践のため、精神科における疾病の症状・状態を理解し、治療と密接な関連がある精神科看護の特徴について理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>対象の発達段階における精神障害や精神発達遅延の症状、状態を理解し、精神面の健康の調和がとれる看護について理解する。精神看護は治療と看護が密接な関係であることを学び、対象とその家族が安心して生活できる援助について理解する。また、地域における精神保健医療福祉の連携について理解する。</p> <p>患者・看護師関係についての理論を知り、自己洞察を深めるとともに、対象に起こりやすい看護問題に対処できる基礎的知識を理解する。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%; vertical-align: top;"> 1. 精神科以外での精神看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体疾患と精神看護</li> <li>・看護カウンセリング</li> <li>・リエゾン精神看護</li> <li>・患者会・家族会と精神保健・看護</li> <li>・地域精神保健</li> </ul> </td> <td style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">}</td> <td style="width: 25%; text-align: center; vertical-align: middle;">梅崎</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 2. 精神発達遅滞を持つ対象の看護の実際 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象への接近法・関わり方及び援助方法</li> </ul> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">}</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">高橋</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 3. 精神保健医療福祉の連携の実際 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設と医療機関や保健所・市町村などの地域との連携</li> </ul> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">}</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">高橋</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 4. 実習の場でおこるさまざまな看護問題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者－看護師関係・対人関係の持つ治療的意味</li> <li>・患者－学生間で起こりうる問題とその解決</li> <li>・看護過程</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">問題の見つめ方・解決の仕方</p> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">}</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">学院坂井</td> </tr> </table>				1. 精神科以外での精神看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体疾患と精神看護</li> <li>・看護カウンセリング</li> <li>・リエゾン精神看護</li> <li>・患者会・家族会と精神保健・看護</li> <li>・地域精神保健</li> </ul>	}	梅崎	2. 精神発達遅滞を持つ対象の看護の実際 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象への接近法・関わり方及び援助方法</li> </ul>	}	高橋	3. 精神保健医療福祉の連携の実際 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設と医療機関や保健所・市町村などの地域との連携</li> </ul>	}	高橋	4. 実習の場でおこるさまざまな看護問題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者－看護師関係・対人関係の持つ治療的意味</li> <li>・患者－学生間で起こりうる問題とその解決</li> <li>・看護過程</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">問題の見つめ方・解決の仕方</p>	}	学院坂井
1. 精神科以外での精神看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体疾患と精神看護</li> <li>・看護カウンセリング</li> <li>・リエゾン精神看護</li> <li>・患者会・家族会と精神保健・看護</li> <li>・地域精神保健</li> </ul>	}	梅崎													
2. 精神発達遅滞を持つ対象の看護の実際 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象への接近法・関わり方及び援助方法</li> </ul>	}	高橋													
3. 精神保健医療福祉の連携の実際 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設と医療機関や保健所・市町村などの地域との連携</li> </ul>	}	高橋													
4. 実習の場でおこるさまざまな看護問題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者－看護師関係・対人関係の持つ治療的意味</li> <li>・患者－学生間で起こりうる問題とその解決</li> <li>・看護過程</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">問題の見つめ方・解決の仕方</p>	}	学院坂井													
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義 演習～事例展開</p>															
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>看護学概論、心理学の単位を取得しておく。</p>															

<テキスト>

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学Ⅰ 精神看護の基礎 医学書院  
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学Ⅰ 精神看護の展開 医学書院

<参考文献>

精神保健 建帛社  
人間関係の看護論 H・E ペプロウ 医学書院

<評価方法>

講義終了後に試験を実施し、加重平均する。

分野（領域）	専門分野Ⅱ	科目名	精神疾患を持つ患者の看護
単位（時間）	1単位（30時間）	開講時期	2年次 後期
講師名 （時間・所属）	宮口 徳枝（27時間・鮫島病院 精神科 看護師） 鮫島病院見学・現地講義（3時間）		
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>精神障害を持つ対象の看護実践のため、精神看護における看護の役割とケアについて理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>精神に健康問題を持つ対象と家族の心理を理解し、問題状況の把握方法を理解する。また、患者－看護者関係の成立過程とその意味を理解し精神看護の基本的姿勢を養う。対象の状況を判断し、対象が主体的に治療やケアを受け、生活が整えられるように支援する知識と技術を理解する。さらに支え手である看護者のメンタルヘルスについて理解する。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ケアの人間関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアの前提</li> <li>・ケアの原則</li> <li>・ケアの方法</li> <li>・関係をアセスメントする</li> <li>・患者－看護師関係で起こること</li> <li>・チームのダイナミクス</li> </ul> </li> <li>2. 精神看護における看護の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院治療の意味を理解する</li> <li>・治療的環境をつくる</li> <li>・安全を守る</li> <li>・緊急事態に対処する</li> <li>・回復を助ける</li> </ul> </li> <li>3. 身体をケアする <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科における身体のケア</li> <li>・身体にあらわれる心の痛み</li> <li>・精神科の治療と身体のケア</li> <li>・日常から気をつけておきたい身体合併症</li> <li>・精神科における身体のケアの実際</li> <li>・心的外傷を持つ患者への身体からはじまるケア</li> <li>・看護過程</li> </ul> </li> </ol>			

4. 地域における精神看護

- ・地域で生活するための原則
- ・生活を支える制度
- ・地域での看護の実際

5. 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス

- ・看護師のイメージ
- ・看護師の不安と防御
- ・感情労働としての看護
- ・看護師の感情ワーク
- ・看護における共感の光と影
- ・感情労働の代償
- ・感情労働を生きのびるために

< 講義の進め方 >

講義

演習～病院見学（3時間）

< 受講要件 >

精神看護学概論、精神保健の講義を受講しておくこと。

< テキスト >

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学2 精神看護の展開 医学書院

< 参考文献 >

精神看護臨地実習 医学書院

精神保健 建帛社

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学1 精神看護の基礎 医学書院

人間関係の看護論 H・E ペプロウ 医学書院

< 評価方法 >

講義終了後に試験で評価する。

病院見学については、レポートを提出する。